

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

# 脊髄損傷における下部尿路機能障害の診療ガイドライン 2019 年版

日本排尿機能学会、日本脊髄障害医学会、日本泌尿器科学会 脊髄損傷における下部尿路機能障害の診療ガイドライン作成委員会（委員長：関戸哲利 東邦大学医療センター大橋病院泌尿器科教授）

中外医学社、2019 年 7 月 25 日 初版 1 刷発行

## ■1 漢方薬（八味地黄丸、牛車腎気丸）

疾患：

下部尿路機能障害

CPG 中の Strength of Evidence:

5: 後ろ向きの症例研究か専門委員会の意見に裏付けられる

有効性に関する記載ないしその要約:

その他の下部尿路に作用する薬剤の項に、下記の記載がある。

『抗コリン薬、 $\beta_3$ 受容体作動薬、 $\alpha_1$ 遮断薬、コリン作動薬、ボツリヌス毒素以外で下部尿路機能障害の治療に使用される薬剤として、ホスホジエステラーゼ 5 阻害剤、5 $\alpha$ 還元酵素阻害剤、三環系抗うつ薬、抗アンドロゲン薬、フラボキサート、エビプロスタット、セルニルトン、漢方薬（八味地黄丸、牛車腎気丸）がある。これらの薬剤の脊髄損傷に伴う下部尿路機能障害に対する有効性を検討した RCT、非ランダム化比較試験、観察研究は報告されていない。』